

幡豆図書館講演会

現役アナウンサーから音読を学ぶ

「東海テレビ庄野アナから音読を学ぼう！」をテーマにした講演会が6月18日、幡豆図書館で行われました。講師は東海テレビ放送の現役アナウンサー、庄野俊哉さん。現在、中日新聞に掲載の「くらしの作文」を毎日音読し、同テレビ局ホームページで公開しています。講演では、ユーモアのある話で会場が和む中、参加者は腹式呼吸や母音の発音などを実践。西尾市ゆかりの詩人・茨木のり子さんの詩「寄りかからず」も読むなどし、音読のポイントを学んでいました。



一色産うなぎが給食に登場

豪華な給食に舌鼓

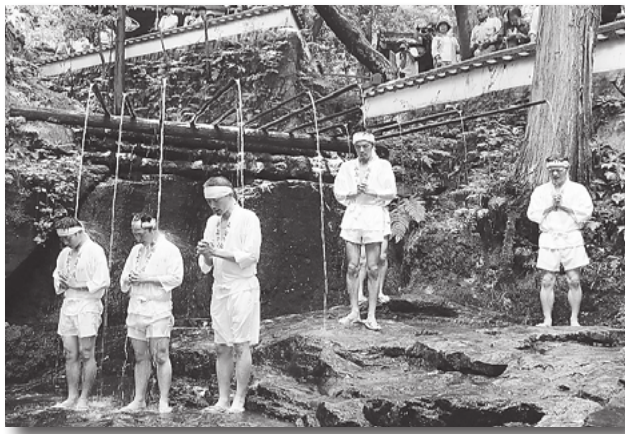


6月19日・20日の2日間、市内の全小・中学校の給食に「一色産うなぎ」を使用したうなぎ混ぜごはんが登場しました。一色産うなぎを食べたことがない市内の小・中学生がいることを聞いた一色うなぎ研究会が発案し、一色うなぎ漁業協同組合の協力の下、合併後初めて実現した今回の給食。中畑小学校では、同会会員によるウナギの生態授業やウナギに触れる体験も行われました。給食の時間には「初めて食べたけど、おいしかった」などの感想も聞こえ、たくさんの子が豪華な給食を堪能していました。

平原の滝開き

西尾の熱い夏はここから始まる

7月2日、西尾に夏の訪れを告げる平原の滝開きが行われました。別名「薬師の滝」と呼ばれ、飲めば長寿、打たればどんな難病も治ると伝えられる平原の滝。滝開きのハイライトである水垢離では、地元の厄男12人が滝に打たれ、「はらえどのおおのかみ、はらいたまえ、きよめたまえ」と無病息災を願う姿に、集まった多くの方の視線が注がれました。会場では、抹茶やとこてん、スイカが振る舞われ、来場者は楽しいひとときを過ごしていました。



しゅくだいおたすけ隊「貯金箱を作ろう」

自分だけのオリジナル貯金箱が完成



しゅくだいおたすけ隊「貯金箱を作ろう」が7月9日に一色学びの館で行われ、親子など8組が参加しました。四角い箱を組み立て、そこに切り込みを入れたマッチ箱を差し込むと貯金箱の原型が完成。引き出したマッチ箱にコインを置いて押し込むと、コインが貯金箱の中に落ちていきます。仕上げにいろんな形の色紙をくっつけ、ペンで絵を描いて飾り付けると、一人一人デザインが違うオリジナル貯金箱の出来上がり。参加者は笑顔で自分の作品を眺めていました。



チャンバラ合戦一戦IKUSA愛知こどもの国夏ノ陣 声 高らかに、いざ出陣！

リアル合戦ゲーム「チャンバラ合戦一戦IKUSA愛知こどもの国夏ノ陣」が6月11日、愛知こどもの国で行われました。この日は全4回戦が行われ、各回約130人が参戦するほどの大盛況。参加者は赤軍と青軍の2つに分かれ、スポンジ製の刀で、命に見立てたボールを狙って戦いました。敵陣に戦いを挑む参加者や、徹底的に守りを固める参加者も。それぞれが個性的な戦いを繰り広げ、大人も子どもも夢中になっていました。次回は12月に開催の予定です。



あじさいフェスティバル 今年のおじさいの花はどんな色？



6月17日・18日に、三ヶ根スカイライン山頂駐車場であじさいフェスティバルが開催されました。眼下に三河湾のパノラマを一望できる会場では、地元特産品の展示即売や大抽選会、和太鼓演奏、バルーンアートショーなど、大人から子どもまで楽しめるイベントがめじろ押し。当日の陽気にも後押しされ、大勢の人が訪れていました。中でも、あじさいの苗木無料配布は開始前から長蛇の列ができるほどの大人気。参加者は慎重に、そして楽しそうに苗木を選んでいました。

初夏の西尾JAZZコンサート 艶やかな演奏を披露

6月24日、西尾市出身のピアニスト佐藤正道さんを迎え、初夏の西尾JAZZコンサートが西尾勤労会館音楽室で行われました。佐藤さんは大学生の時にクラシックピアノからジャズピアノに転向し、現在、東海地区を拠点に活動しています。今回は愛知県出身のジャズボーカリストの奈穂さんとベーシストの加藤雅史さんとのトリオで、ジャズのスタンダードナンバーやボサノバなど2部構成全15曲を演奏。艶やかな歌声や音色で、会場を埋め尽くした観客を魅了していました。



アーティスト・トーク&交流会 新アート「星を想う場所」完成



佐久島の新たなアート「星を想う場所」を制作した荒木由香里さんによるアーティスト・トーク&交流会が6月24日、島の北側に位置する高千谷海岸で行われました。平成24年に設置されたアート「星を想う椅子」の場所に、新たに制作されたもので、ちりばめられた貝殻などが星座のように浮かび、それをのぞき込んで楽しむアートです。参加者は荒木さんから作品の意図などを聞きながら、参加者同士の交流も楽しみ、佐久島でのゆったりとした時間を満喫していました。